

## 経営改善目標の達成に向けた取組状況

### 1 法人の概要（令和4年7月1日現在）

法人名	(公財) かながわ海岸美化財団							
設立年月日	平成3年4月1日	代表者名	代表理事 松浦 治美					
所在地	茅ヶ崎市汐見台1番7号	電話番号	0467-87-5379					
基本財産等	1,789,278,035	円	県出資額	1,400,000,000	円	県出資率	78.2	%

### 2 法人運営における現状の課題

- |   |
|---|
| ① 自主財源（寄付金・会費収入、基本財産運用収入）の確保<br>② 海岸清掃事業負担金等の財源の確保<br>③ かながわプラごみゼロ宣言やSDGsの方向性に沿った海岸美化の普及啓発<br>④ 限られた予算の中での効率的な事業の運営 |
|---|

### 3 経営改善目標の達成に向けた取組実績等

\* 項目ごとに、下段の（ ）内に目標を、上段に実績を記載してください。

#### 【県民サービスの向上】

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価	
1	海岸美化充実・強化検討会議への参画	回	1 ( 2 )	1 ( 2 )				A	
	(担当者会議)		1 ( 1 )	1 ( 1 )					
	(課長会議)		0 ( 1 )	0 ( 1 )					
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	担当者会議のみの書面開催となったが、海岸清掃の委託契約に関する厳しい状況について、書面により県及び各市町に情報提供することができたため、A評価とした。					会議の場において、必要な提案や情報提供を行い、県や市町に当財団の現状や課題について一層理解していただくよう努めていく。			
	備考								

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価	
2	環境出前授業「学校キャラバン」の実施	人	1,354 (うち新規 693) 3,070 (うち新規 200)	3,187 (うち新規1,151) 3,100 (うち新規 200)				A	
	自己評価（目標未達の場合はその理由）					今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったものが13件(参加者数見込 1,734人)あったが、新規の依頼が増加したこともあって目標値を上回ったため、A評価とした。								
	備考								

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価
3	海岸の美化啓発のための講演等	回	5 ( 4 )	13 ( 4 )				A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	海岸ごみの現場の実態を踏まえた立場から、対面やオンラインで講演を行った。また、環境省の検討会に参画し、海岸清掃現場からの知見を提供した。目標値を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価
4	海岸の美化啓発のためのワークショップ開催	回	0 ( 4 )	5 ( 4 )				A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じた上で5回実施できたため、A評価とした。							
	備考							
リベエラ逗子マリーナ「ONE ETHICAL（ワン・エシカル）」でのワークショップ 2日間5回 計57人								

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価
5	海岸清掃ボランティアへの支援	人	38,298 ( 160,000 )	96,490 ( 160,000 )				B
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	新型コロナウイルス感染症の影響で大規模なビーチクリーンイベントや企業・団体のビーチクリーンが中止となったが、個人や少人数グループの参加が増えたこともあって、参加人数が約96,000人まで回復したため、B評価とした。			引き続き、ホームページ等において海岸清掃活動の情報を提供してボランティア参加を呼び掛けることにより、早期にコロナ禍以前の水準に戻すことを目指す。				
	備考							

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価
6	美化団体交流会の開催	人	140 ( 160 )	225 ( 160 )				A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）			今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）				
	令和2年度に引き続き、オンラインで開催し、講演や活動発表を行ったことにより、交流会の成果を得られ、人数も目標値を上回ったため、A評価とした。							
	備考							

【収支健全化に向けた経営改善】

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価
1	海岸清掃事業費負担金収入	千円	241,512 ( 243,588 )	248,489 ( 243,588 )				A
	(通常清掃費)		222,210 ( 223,563 )	227,464 ( 223,563 )				
	(緊急清掃費)		19,301 ( 20,025 )	21,025 ( 20,025 )				
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	負担金収入について、労務費の上昇を反映して一定の改善が図られ、目標値を上回る収入を得られたため、A評価とした。							
備考								

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価
2	基本財産の運用収入	千円	39,890 ( 40,000 )	39,883 ( 40,000 )				A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	基本財産の運用はほとんど国債に拠っており、満期になるまでは運用収入の額はほとんど変動しない。したがって、概ね現状維持の収入額であるがA評価とした。				今後、満期償還後に新規の運用を始める際には、少しでも有利な運用先を確保するよう努める。			
	備考							

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価
3	会員の会費収入	千円	7,104 ( 4,200 )	8,323 ( 4,400 )				A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	積極的に財団事業のPRと会員加入の働き掛けを行った結果、会員数及び会費収入を大幅に増やすことができたため、A評価とした。							
	備考							

No.	項目	単位	2年度	3年度				3年度自己評価
4	常勤職員数	人	8 ( 8 )	8 ( 8 )				A
	自己評価（目標未達の場合はその理由）				今後の取組方針（目標未達の場合は必ず記載）			
	財団の業務運営に必要な最低限の職員数であり、美化啓発などで業務も増えている中で、既存の人員体制で業務を維持することができたため、A評価とした。							
	備考							

#### 4 取組実績等についての総括（法人）

当財団は、平成29年度に策定した第五次経営改善計画に基づき、一層効率的な財団運営を目指して取り組んでいる。

海岸清掃事業については、人手不足、労務費の上昇により委託業者の確保が切実な課題となっているが、令和3年度は令和2年度に引き続き、労務費上昇分について一定の改善が図られ、負担金予算が増額されたことから、委託業者を確保することができた。また、コロナ禍においても、適切な感染予防対策を講じつつ、海岸清掃事業を着実に実施した。

自主財源の確保については、財団事業の積極的なPRと会員加入の働き掛けにより、会費収入を大幅に増加することができた。

美化啓発事業については、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、学校キャラバンの参加人数は、コロナ禍以前の水準に回復した。

美化団体支援事業についても新型コロナウイルス感染症の影響があったが、海岸清掃ボランティアの参加人数が大幅に回復した。また、美化団体交流会を引き続きオンラインで実施することにより、多くの参加者を得られた。

総じて、事業の実績は新型コロナウイルス感染症の影響から回復してきており、今後も更に実績を上げられるよう努めていく。

#### 5 取組実績等についての総括（所管課）

海岸清掃事業については、定期的に海岸パトロールを行ってごみの散乱状況等を把握し、年間を通して計画的に通常清掃を実施することができた。海岸ごみの発生状況は天候等により大きく変動するものであるが、荒天等により通常清掃で処理が追い付かないときは、財団直営または委託業者との連携により、適時的確に緊急清掃を実施した。また、海岸清掃業務の入札不調や、業務から撤退する事業者もある中、業者の確保に奔走し、委託清掃が欠落した工区が出るという事態を回避することができた。

自主財源の確保については、企業・団体訪問やSNSの活用による積極的な働き掛けにより、企業・団体、個人ともに会員数が大幅に増加し、これに伴い、会費収入も増加した。

美化啓発事業については、令和2年度は中止となったワークショップを実施することができた。また、学校キャラバン参加者数は令和2年度と比較して2倍以上に増加した。その他、オンラインによる講演等、可能な範囲で積極的に事業実施に努めた。

美化団体支援事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、大規模なビーチクリーンイベントや企業・団体のビーチクリーンが中止となったが、個人や少人数グループの参加が増えたこともあって、令和2年度と比較して海岸清掃ボランティア参加者数が大幅に増加した。また、企業・学校・関係行政機関等を対象としたオンライン交流会を開催し、参加者との交流を深めることができた。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点からイベントの中止または規模縮小等を余儀なくされる中、事業内容や開催方法等に工夫を凝らしながら取り組んでいる。今後も引き続き、財源の確保等、経営基盤の強化に努め、経営改善目標の達成に向け指導していく。

#### 6 第三セクター等改革推進部会の総合評価・今後の取組に向けた意見

評価結果	
A	概ね着実に取組が進められている。